

令和7年 9月吉日

保護者各位

市川市立第五中学校  
校長 岡 良和

## 学校評価アンケート 結果報告

6月実施「学校評価アンケート」の結果を報告いたします。本アンケートは、市川市公立学校で一斉実施するもので、生徒および保護者に実施しております。

今回の結果を踏まえ、家庭・学校・地域の連携のもと、教育活動および教育環境の充実と質向上に役立てまいりますので、ご理解ご協力願います。なお、アンケート回収率は、次の通りです。ご協力に感謝申し上げます。【生徒】71% 【保護者】73%

### 1 「結果の見方」について

- 表内の「評価項目」は、1「確かな学力」、2「豊かな心」、3「健やかな体」、4「家庭・学校・地域の連携」以上4つの大項目ごとにまとめています。
- 「評価項目」は、市川市公立学校の共通項目に「学校で独自に設定した項目(項目1の5 項目2の4)」を加えています。
- 「評価項目」の質問文は、生徒向けと保護者向けの表現に分け、同様の内容を質問しています。
- 「評価結果(人)」は、評価項目の選択肢4, 3, 2, 1を選んだ合計人数です。  
(選択肢: 4そう思う 3どちらかというとそう思う 2どちらかというとそう思わない 1そう思わない)
- 「評価の平均値」は、評価結果をポイント換算し平均値を示しました。平均値が、2.5よりえると4「そう思う」に近づき、2.5より減ると、1「そう思わない」に近づくことを示します。
- 4「そう思う」と3「どちらかというとそう思う」を選択した人数を評価項目について「肯定的回答割合」と示しています。

### 2 「学校運営について A:好ましく感じていて継続してほしい点 B:物足りなく感じていて検討してほしい点」について(保護者アンケート)

- 4つの評価項目をさらに「内容」に分けています。具体的なご意見を頂戴し、ありがとうございます。
- お寄せいただいた個々のご意見は、原則そのまま掲載し、内容が重複するご意見は、「同( )件」と紹介しています。
- 個人・団体が特定できるような記載等、内容により、一部を要約・割愛して掲載しておりますが、お寄せいただいたご意見の趣旨を精査したうえで、職員会議等で共有するとともに、対応について検討してまいります。

### 3 「学校運営協議会の意見」について

- 直近開催の協議会における「評価結果」についての協議内容を記載しています。

### 4 「現状の分析および学校運営の方向性」について

- 「学校運営協議会の意見」を参考に、教職員で評価・協議したものを示しています。
- 個別案件については、学校全体で情報共有を図ります。そのうえで、「学校の役割」および「学校ができること、できないこと」を総合的に評価・検討し、教育活動の中で改善してまいります。

アンケートのご協力ありがとうございました。引き続き、

『子ども達の笑顔: ☺わかった！ ☺そうか！ ☺いいね！ ☺すてき！ ☺やった！』  
を増やすとともに、『五中ブランド力向上』につながる学校教育活動を推進してまいります。

## 1 「確かな学力」について( 生徒 )

評価項目			評価結果(人)					評価の平均値		肯定的回答	
			4	3	2	1	計	今回	前回6月	6月	前回6月
確かな学力	1	目標を持って学習したり、生活したりしていますか	126	175	69	24	394	3.02	2.90	76%	69%
	2	調べたいことやわからないことを自分から調べるなど色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか	120	191	62	24	397	3.03	2.91	78%	72%
	3	日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか	56	61	108	170	395	2.01	2.04	30%	30%
	4	日々の学習で、タブレットを活用していますか (4: ほぼ毎日 3: 週2~3日 2: 週1日 1: していない)	53	166	126	53	398	2.55	2.53	55%	53%
	5	学校では、個人に応じたていねいな学習指導を受けていますか	148	182	49	19	398	3.15	3.05	83%	79%

## 1 「確かな学力」について(保護者)

評価項目			評価結果(人)					評価の平均値		肯定的回答	
			4	3	2	1	計	今回	前回6月	6月	前回6月
確かな学力	1	お子さんは、目標を持って学習したり生活したりしていますか	95	153	89	29	366	2.86	2.76	68%	63%
	2	お子さんは、調べたいことやわからないことを自分から調べるなど色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか	60	166	114	29	369	2.70	2.67	61%	59%
	3	お子さんは、日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。	51	54	124	139	368	2.05	2.01	29%	27%
	4	お子さんは、毎日の学習でタブレットを活用していますか。	43	77	129	114	363	2.13	2.13	33%	31%
	5	学校は、個に応じたていねいな学習指導を行っていますか	52	199	86	17	354	2.81	2.74	71%	65%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
1	学び	■A:オープンスクールの時に、先生方が教室をお互いに行き来して授業や子供たちの様子を見て回っていたのがとてもいいと思いました。 ■B:水泳の授業を選択にしてほしい ■B:受験対策について。学校調べは2学年終わりからやってほしい。本人が受験生という認識が足りない。塾に、行かせていないので学校で受験生という雰囲気作りをお願いしたいです。 ■B:以前行っていた職場体験を再開して欲しい。高齢化が進んでいく中で、近くの老人ホームなどで車椅子の使い方などを学んだり、高齢者の方と会話をしたりしてコミュニケーションをとる機会を体験して欲しいです。(同1件) ■B:苦手な教科の手助けがもっとあるといいと思います。 ■B:テスト前に皆で集まって勉強できる場所を作って欲しい。我が家に数名集まって勉強をしていた。土日は大柏小学校の市民図書館行っていた。中学校の校内にも、空き教室を活用した学習室があると良い。 ■B:宿題が少ないと感じます。もう少し日々の課題があつてもいいのかなと思いました。 ■B:少しでもいいので宿題を出してほしい。小学生の時は宿題があるので毎日勉強する習慣ができていたが中学に入って宿題がなくなったので勉強しなくなつた。 ■B:運動のできる子が優遇され、得意でない子供が活躍できる場が少ない。

		<p>■A:生徒主体の行事運営+それを下支え(指導)する先生 ■A:体育祭は生徒も先生方もみんな一致団結して取り組んでいる姿を見て感動しました！生徒みんなが心身共に成長しているなと思える行事の一つなのでこのまま継続して欲しいです！ ■A:運動会がとても活気があり生徒も先生方も熱く取り組んでいる様子に感動しました。いつもありがとうございます。 ■A:若草の宿泊学習やさわやかスポーツフェスタなど沢山の経験値を上げて頂く機会をありがとうございます。感謝しかありません ■B:修学旅行は京都奈良に行きたい ■B:今回修学旅行が延期になってしまったが、7月に行くプランが酷すぎる。こんなプランに60000円弱は納得できない。(子供の為に払うが)物価高なのはわかるが、他の学校に比べると本校はプランニングが下手すぎる。 ■B:林間学校など泊まりの企画をつくって欲しい</p>
--	--	---

## < 現状の分析及び学校運営の方向性 >

### 【全体分析】

「確かな学力」について、生徒の評価結果では、「1 目標を持って学習する」「2 色々なことに興味を持って学習する」「5 個人に応じたていねいな学習指導を受けている」3つの項目で、【評価の平均値】が3.0を超え、比較的高い数値を示しており、生徒が主体的に学びに向かう力をさらに伸ばす手掛かりになると考えます。この部分は、昨年同時期と同様の傾向であり、評価数値では、向上がみられます。また、「3 読書に親しむ、図書資料を使って調べる」の評価が、比較的低い数値を示しています。生徒の言語能力を育成するとともに、情緒面の伸長など、読書から得るものは多大であることから、学校図書館経営と生徒会活動を核として、読書に親しむことにつながる啓発活動を工夫してまいります。

### 【部分説明】

■教員の授業力向上を図るため、教育委員会指導主事や外部講師と行う学習指導案検討会および授業実践研修に加え、生徒による授業アンケートを各教科で実施し、教科担任が、自身の授業改善に役立てています。さらに、ICT(Information Communication Technology)の有効活用を推進するなど、学習指導要領が目指す「主体的・対話的・深い学び」のより一層の具現化により、生徒の「確かな学力」を育んでまいります。

■五中では「生徒の自己指導能力を高める」ことが、学力向上につながる手段のひとつと考えています。自己指導能力を高める学びの例として、「授業で学んだ内容から、自分が興味・関心を持ったことを探求する」「自分の理解が不足している部分を補う課題を考えて行う」「定期試験や小テストの出題範囲に合わせて、自分に適した家庭学習スケジュールを立て、勉強パターンを改善する」といったものがあります。それにより、学習指導要領が求める『学びに向かう力・人間性』の向上が期待されます。その一環として、今年度から『スコラ手帳(スケジュール管理手帳)』を使って、各自で生活・学習スケジュールを見る化したり、家庭学習計画を考えたりして記録し、クラス担任が点検・指導することで自己指導能力向上を図っています。また、家庭学習について、教科担当によっては、頻繁に宿題を課すことがあります。その一方で毎授業、積極的に宿題を課すことよりも、自己指導能力向上につながる家庭学習の指導に力点を置く教科もあります。

■放課後等の学習機会として、「まなびサポーター」が個別指導する「まなびくらぶ」を図書室で開設し、希望する生徒が利用しており、今後も登録・利用が可能です。その他、補習機会として、単元の変わり目や定期試験前に、「授業時間内に、復習および個別の質問に担当教員が応じる時間をとる」「放課後の学習相談日を設定する」など、教科・学年それぞれで取り組んでおります。なお、土日など休日の学習機会は、教職員の勤務日でないことから、とくに設定しておりません。

■体育の水泳領域は、学習指導要領で1, 2学年は必修、3学年では、指定の運動領域から選択可とされています。本校では、年間指導計画で水泳を取り扱う際、①実施可能時期が、夏季に限られる、②生

徒の安全確保、③泳法・泳力により、生徒が3つのコースを選択して学習できるようする、以上3点を考慮して、3名の体育科教員を配置しています。そのため他の運動領域との選択幅を広げておりません。今後の年間指導計画については、令和8年度に体育館にエアコンが設置されることを考慮し、水泳と他の運動領域との関連性を踏まえ、検討してまいります。

■中学生期の「キャリア教育」は、自己の能力や適性理解と自己有用感獲得、職業観・勤労観の形成、進路計画の立案と選択、生き方や進路に関する現実的探索などをねらいとして、主に道徳、特別活動、総合的な学習の時間を通じて行います。五中では、教育活動全般を通して、生徒の自己肯定感や自己有用感の向上をはかるとともに、「自己の個性と職業適性を考える(1学年)」「近隣の高校の特色を調べる(2学年)」「高校の先生を招いて学校説明会を開催する(3学年)」などの学習を経て、現実的な進路選択につなげています。過去には、2学年時にキャリア教育の一環として多業種の事業所を訪問する職場体験学習を行っていましたが、コロナパンデミック以降、他の学校行事との関係など教育課程全体のバランスに配慮し、中止しています。また、令和6年度から千葉県公立高校がインターネット出願を導入した影響で、中学校では、生徒が志望校を決めて出願準備を始める時期が早まったことも踏まえ、引き続きキャリア教育全体の計画を工夫・改善してまいります。

■校外学習・修学旅行では、現地での体験活動を柱とし、主に「総合的な学習の時間」の学習内容に関連したフィールドワークを行います。また、体験活動の事前・事後に、調べ学習やプレゼンテーション等、「探究的な学習」を進めます。併せて、校外学習実行委員会や各係活動を通して、計画・協働・合意形成など「特別活動」の学びを深めます。修学旅行先については、旅行費用積み立ておよび宿泊施設・交通機関・体験学習プログラム等を早期に準備・予約しておく必要があるため、例年1学年時に検討しています。また、旅行会社および旅行プランの選定は、教職員と学年保護者代表が、複数の旅行会社から、旅行プランのプレゼンテーションを受け、その内容を比較検討して決定します。本校では、コロナパンデミック前に実施していた京都奈良方面の修学旅行を令和5年度から長野方面に変更した経緯があります。このエリアで実施する体験活動では、SDGsに関連した地球環境・エネルギー資源の学習、アウトドアクティビティによる自然の中での協働体験、善光寺の歴史体験が主な学習成果となっています。また、生徒の感想で目立ったものが、「ペンション宿泊体験で、クラスの仲間・ペンションオーナー・スタッフの方々との交流が深まった」など、人間関係がもたらす感動体験でした。他にもバス移動中は、レクリエーションで盛り上がり、クラスの一体感を深めています(修学旅行の様子は、五中HP:各種たより:学校だより7号PDFファイル:「いいね！ランキング一学期」内のタイトルリンクから、人気が高かったブログ記事をご覧になれます)。なお、京都・奈良エリア修学旅行は、近年のオーバーツーリズムの影響によるホテル料金高騰をはじめ、京都市内班別行動の足となる路線バスが観光客で溢れ乗車困難となり、観光名所の拝観に長時間並び行動計画が大きく遅れたりする心配があります。加えて、新幹線修学旅行列車の割り当ては、関東地区公立中学校修学旅行委員会、JR東海等、関係機関が行うため、学校が希望する期日を指定できること、南海トラフ地震の影響が懸念される地域であることなどが課題となっています。

■今年度、4月に予定していた3学年修学旅行は、出発直前に発生した長野県北部地震の影響により延期しました。急遽の計画変更・調整となりましたが、昨年度、生徒に好評だった、体験アクティビティ、ホテルグリーンプラザ白馬、白馬ペンション村および三日間の貸し切りバスの要件がそろった7月7日からの日程で実施できました。また、夏季の実施および一部キャンセル料が発生したことから、「いかだ作り」と「SDGs体験学習」に替えて「象山地下壕(松代大本営地下壕)ガイドツアー(夏も涼しい戦争遺跡)」と「松本城(国宝:史跡文化遺産)」を見学地とし、平和教育と歴史学習の要素を盛り込み、体験アクティビティを含む旅行料金は当初プランから減額し、50,000円前後になりました。

### < 学校運営協議会の意見 >

◎スコラ手帳の実践が有用である。次年度以降もぜひ継続してほしい。◎生徒が一日の始まりにスコラ手帳を開き自分のスケジュールをチェックすることが習慣化している。◎日常的に自分のスケジュールを作り見通しをもつことは社会人になっても大いに役立つスキルである。◎定期試験の学習計画をスコラ手帳で作成している。◎学級担任はスコラ手帳をチェックしアドバイスやコメント交換するなど生徒とつながるツールとしても活用している。◎親子でスコラ手帳を見て活用している。◎長野県北部地震の影響による4月実施予定の修学旅行中止が心配されたが、宿泊施設・貸し切りバス・体験学習の条件をそろえて7月に変更実施できた緊急対応は評価できる。(詳しくは前述の【部分説明】に記載)  
◎学校図書の貸し出し数が増加している。図書室のレイアウト変更、新着図書選定の吟味、教科の宿題に図書資料を使用するなど、人流を増やす工夫をした結果、1学期だけで昨年度一年分の貸し出し数となった。◎図書購入をさらに充実させるためPTAの補助を検討したい。

## 2 「豊かな心」について( 生徒 )

評価項目		評価結果(人)					評価の平均値		肯定的回答	
		4	3	2	1	計	今回	前回6月	6月	前回6月
豊かな心	1 友だちの良いところを見つけることができますか	257	123	12	4	396	3.60	3.58	96%	95%
	2 困ったことがあった時に相談できる先生がいますか	165	150	40	42	397	3.10	3.05	79%	75%
	3 学校の活動では、体験（見る、聞く、触れる）や交流が取り入れられていると思いますか	174	164	41	19	398	3.24	3.22	85%	82%
	4 自分には、良いところがあると感じことがありますか	93	186	91	31	401	2.85	2.76	70%	65%

## 2 「豊かな心」について(保護者)

評価項目		評価結果(人)					評価の平均値		肯定的回答	
		4	3	2	1	計	今回	前回6月	6月	前回6月
豊かな心	1 お子さんは、友だちと「お互いの良さを認め合う」ような関係づくりができますか	142	193	23	5	363	3.30	3.25	92%	92%
	2 学校には、一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っていると思いますか	51	187	87	20	345	2.78	2.76	69%	68%
	3 学校は、体験活動を取り入れていると思いますか	56	200	76	11	343	2.88	2.85	75%	71%
	4 お子さんは、自己肯定感（自分には良いところがあると感じる）が高まる経験をしていますか	112	187	63	4	366	3.11	3.04	82%	82%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
2	教育相談	■A: 先生と仲良く些細なことでも話せる関係がとても良いと思っています。 ■A: 担任の先生は親身になって話を聞いてくれます。

生 徒 指 導	■A:学校へ行くと子供たち自ら挨拶をしてくれるところ。誰も挨拶をしないということがない。とても須素晴らしいと思います。 ■A:個々の生徒の状況に合わせた対応をしてくださっていると思います。こどもの入学時は不満に思う部分もありましたが、今は改善されています。 ■A:担任の先生もちろん、関わる先生方がとても一人一人をよくみてくださっているのを感じています。いつもありがとうございます。 ■B:子どもが言うことなので真偽はわからないが、教師の中に言葉づかいが荒い方がいるとのこと。授業中「てめえら」と言われびっくりしたと。思春期の中学生相手に、話を聞かせる(指示をきかせる)のは大変なことだと思いますが、一昔前ならいざ知らず、いまだにそのような話し方をする教師がいると聞き驚きました。改善していただけたらと思いました ■B:席かえは自分達で自主的に決めているようだが、公平に係の子どもが決めているにもかかわらず、私の好きな子だと知っているのになぜあなたが隣に座っているのかと言われた。ご面倒ではありますが、視力の悪い子や配慮すべき子以外はくじ引きなどでより公平に決める事を求めます。
服 装	■A:リニューアルされた制服は、着心地、品質が従来の物より向上した実感があります。また、低価格、無料交換など経済性でも大きな進歩だと思います。 ■A:制服がレンタルになり、割安感があります、また、素材が変わり、ジャケットの着心地など、機能性も、とても良くなつたと感じます。 ■B:今年から五中の制服が変わり女子の指定ベストがなくなりましたが、ブラウス1枚は下着が透けやすくなります。今までベスト着用により女子がジャケットなしでもブラウスを着用しやすいという防犯面での機能もあったと感じます。文科系の部活は夏でも制服を着用してコンクールに出場しますし、3年生は学校見学や外部試験などの大切な場面でも制服を着用します。暑さ対策の為にリボンネクタイを外したり襟元ボタンを開けたりします。2.3年生の女子はベストを持っているので着用する子が多いと思います。今後ベストがない学年の希望者は市販のスクールベスト(無地、色の指定をしたうえで)での対応を許可しても良いのではないでしょうか。現在、暑さ対策として夏季の体操服登下校を許可していますが、登下校時間が長くかかる生徒もいますし生徒への声掛けなど不審者情報も発生している地域です。何ヶ月にも渡る白の体操服にハーフパンツの登下校には注意が必要と感じます。近隣校の様に夏場は紺色のポロシャツでの制服登校でも良いのではとも思います。暑さ対策もありますが、登下校時の生徒を守る安全対策として生地が透けない事や肌の露出の多い服装を避ける対応も重要と思います。費用面だけでなく生徒が着用するうえでの防犯面の対策もお願いします。
部 活 動	■B:部活動の顧問の関わり方、もう少し部活に顔をだしてほしい。むしろ部活中に顧問がない中で部活動をしているのに驚いています。何かあつたらどうするのか? ■B:部活動の指導がいい加減に感じる ■B:朝練のできる部活動を増やしてほしい。

#### <現状の分析及び学校運営の方向性>

##### 【全体分析】

「豊かな心」の育成について、生徒、保護者とともに、全項目で比較的高い評価結果であり、とくに生徒の評価結果では、項目1, 2, 3で「そう思う」の割合が高く【評価の平均値】を押し上げています。生徒会活動をはじめ、実行委員会活動、学級活動、部活動等により、生徒の主体性を伸ばすとともに自己肯定感を高めることで、豊かな心を育む学校運営・教育活動の成果と考えます。加えて家庭教育および地域の健全育成活動の賜物と感謝申し上げます。今後も道徳教育および日常の生徒指導並びに教育相談活動と合わせ、生徒の「豊かな心」の育成を、より一層推進してまいります。

## 【部分説明】

- 生徒指導では、あいさつ・言葉づかい・身だしなみ等をはじめ望ましいコミュニケーションスキルの育成に取り組んでいます。一例をあげると、登校時間帯に校門、生徒昇降口に教職員が立って生徒とあいさつを交わし、積極的な声かけをするなかで、一日が始まることが日常となっています。また、生徒のあいさつの状況について、来校者の方々から、「生徒が元気にあいさつしてくれる」「車で来たら、近くにいた生徒が、校門を開け閉めしてくれた」など、感激した声が、日常的に多数寄せられています。
- 教職員が、生徒理解に努め、一人ひとりに寄り添う姿勢に好評価が寄せられています。教師と生徒のコミュニケーションの基本は、人権尊重であり、その一環として、平素から生徒への声かけ、言葉づかいに配慮することを教職員が研修・実践しており、今後も継続してまいります。
- 各教室の生徒座席の配置は、年度当初は、出席番号順で並びます。その後、多くの場合、生徒間の相互理解が進んだ時期をみて随時席替えを行います。席替えの方法は、学習指導要領:特別活動の趣旨に沿い、学級会議で選出された各班長と担任で話し合い、各班の当番・係・学習活動が協力して行えるよう、班メンバーの構成やクラス全体のバランスを考慮し、5, 6名の生活班を編制し、教室内の班および座席配置を決めています。
- 女子生徒の登下校時の服装の状況ですが、ニュータイプの体操服は、透け防止機能で「グッドデザインアワード 2020 ベスト 100」に登録された素材(商品名:ミエンヌ)を使用しており、従来品と比較して透けにくい製品となっています。体操服の色については、白と紺色の併用も検討材料となりましたが、紺、黒など濃い色は太陽熱を吸収しやすく体感温度が上昇することに加え、在庫管理の関係で白、紺両方の価格が高くなるため見送りました。また、休日や夏休み中の部活動では、体操服に加えて、体育祭クラスTシャツ、部活動でそろえたTシャツ等で多くの生徒が登下校しています。指定ベストについて、制服改定前の検討段階で調査したところ、市川市内でブレザージャケットタイプの制服を使用している五中以外の中学校9校のうち、「指定ベストなし:6 校」「指定ベストを廃止する予定:1校」「指定ベストあり:2校」でした。また、本校女子生徒は、指定ベストを着用する際、ブラウスの下に体操服を着用していることが日常的でした。そのため、10,000 円を超える価格のベストを指定アイテムからはずした経緯があります。なお、制服着用期間では、指定ベストの代わりに、保温用として市販のセーター、ベストを必要に応じてジャケットの下に着用可としています。今後も、登下校時の服装について、暑さ対策等の健康課題、家庭の経済的負担、防犯面の視点等の状況をみて検討・改善を図ってまいります。
- 部活動中、顧問教員は、可能なかぎり、活動場所で監督・指導を行っています。しかしながら、教職員は、放課後に、会議、打ち合わせ、生徒会活動、教育相談、家庭連絡等、様々な業務を部活動と並行して行うことがあるため、顧問教員が活動場所以外で業務中であっても、練習中の安全に配慮し、生徒が自ら部活動を運営できる条件があれば活動しています。また、その場合でも活動終了時には、顧問教員が立ち会い、健康観察および活動報告等を行うなど、監督・指導に努めています。
- 部活動の朝練習は、生徒の睡眠時間確保や教職員の超過勤務軽減などの理由から、特別の場合を除いて行わないこととしています。現状で朝練習を実施している事例では、体育館を使用する部活動が多いことから、練習場所を調整するために一部の部活動を朝の体育館使用に振り替えたり、夏季には暑さ対策のため比較的涼しい早朝時間帯に行ったりしています。

## < 学校運営協議会の意見 >

- ◎制服改定の評価の声が寄せられ本協議会としても喜ばしい。
- ◎登下校時の体操服使用期間は暑い間は延長することが望ましい。(気候状況により体操服使用期間を柔軟に扱うことを9月始業式および学校だより2号でお知らせしています)
- ◎ポロシャツを導入した他中学校では体操服を着た上にポロシャツを重ねて着るようになり暑さ対策としては実効性が少ない状況がみられている。 ◎五中体操服のデザインは好評と聞く。ポロシャツの必要性は低いのではないか。

### 3 「健やかな体」について( 生徒 )

評価項目			評価結果(人)					評価の平均値		肯定的回答	
			4	3	2	1	計	今回	前回6月	6月	前回6月
健やかな体	1	日頃から運動やスポーツに親しんでいますか	247	71	39	41	398	3.32	3.10	80%	72%
	2	給食では、栄養やマナーなどを意識して食べていますか	206	128	47	17	398	3.31	3.29	84%	83%

### 3 「健やかな体」について(保護者)

評価項目			評価結果(人)					評価の平均値		肯定的回答	
			4	3	2	1	計	今回	前回6月	6月	前回6月
健やかな体	1	お子さんは、運動やスポーツに親しんでいますか	190	88	47	44	369	3.15	3.08	75%	71%
	2	お子さんは、望ましい食習慣が身についていますか	119	187	50	11	367	3.13	3.14	83%	81%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
3	健康安全	■A:女子トイレに忘れた時様の生理用品が置いてあるのは継続して欲しい。 ■B:給食無償化が導入されて以降、子どもが「デザートが減った」とよく言っています。無償化によりいろいろと難しい部分もあると思いますが、無償化=よいことという風な単純な思考に陥らずら給食の教育的效果も考えてほしいと思います。 ■B:学校運営というより、市に対してのお願いになってしまいますが、体育館にクーラー設置が必要だと思います。子どもたちや職員の皆様の健康や、地域の防災の避難場所とされている五中ですので、設備があるに越したことはないかと。市川市の素早い対応を期待しております。(同1件) ■A:夏休みに、エアコンが入った小学校の体育館で部活動ができると学校だよりにありました、来年以降、五中体育館にエアコンが入ってからも継続できたらよい ■B:熱中症アラートが出ている日の野外部活を休みにしてほしい。

#### <現状の分析及び学校運営の方向性>

##### 【全体分析】

生徒の健康増進・体力向上を図り、「健やかな体」を育成するなか、【評価の平均値】で生徒、保護者とともに全ての項目で3.0を上回る結果でした。「1 運動やスポーツに親しむ」について、学校での主な運動機会は、「体育授業」「運動部活動」ですが、それらに加えて「昼休みの外遊び」を奨励するとともに、「2 望ましい食習慣」育成のため、令和5年度から給食時間を5分延長し、食と向き合う時間の充実を図っています。また、生徒会活動では、保健給食委員会が、健康的な生活習慣の定着を目指して「生活習慣チェック」「アウトメディアデー」「給食配膳チャレンジ」等の実践で調査・啓発活動を行っています。

##### 【部分説明】

■給食献立は、市川市が決めた食材費の予算内で、学校栄養士が作成しています。献立に含む果物や菓子類などのデザートは、一食分の栄養価のバランス調整および、かしわ餅、ひなあられなど、季節行

事に関連付けた食育の観点から、献立に加えています。給食食材費とデザート回数の変動状況ですが、令和4年度途中に市川市で給食費無償化制度が導入されており、その前後の年度の給食食材費およびデザート回数を比較すると、令和3年度:369円・デザート112回、令和5年度:382円(7月から392円)・デザート94回の状況です。給食食材費は、その後も諸物価高騰の影響で令和6年度10月から411円、令和7年度7月時点で420円に上昇していますが、果物類などの価格が、それ以上に高騰しているため、限られた食材費でのやりくりを余儀なくされ、デザート回数を減らしているのが実情です。一例をあげますと、無償化制度以前にオレンジ1個(給食デザートでは6等分して提供)100円程度だったものが、最近では200円近くになっている状況です。

■五中体育館のエアコン設置は、来年度(令和8年)夏休み中に設置工事を予定しています。また、暑さ対策の一環で、今年度から、体育館で練習する部活動が、夏休み期間に大柏小、柏井小体育館(エアコン設置済み)を借用できるように調整しました。令和8年度以降も継続できるよう、近隣小学校と調整する予定です。

■運動部活動の熱中症予防については、グランド、体育館など活動場所周辺の暑さ指数をWBGT(暑さ指数)計測器で実際に計測しながら対応しています。暑さ指数が高い場合には、活動前後および練習中の健康観察・涼しい場所での休息・水分補給等を隨時行うとともに、市ガイドラインの基準値を超えた場合には、練習中止、屋内など暑さ指数が低い場所で活動、エアコンが効いた教室で休憩・健康観察するなど対応しています。なお、家庭で朝食を十分にとり、水分補給を適切に行なうことが部活動をはじめ一日を通じた熱中症予防に有効です。

#### < 学校運営協議会の意見 >

- ◎食料品の値上がりは顕著でありデザート回数が減るのはやむを得ないのではないか。
- ◎給食時間を5分延長した効果として完食する生徒が増え残菜が減ることが期待される。
- ◎コロナ禍と比較して校内でマスクを常に着用する生徒は少くなり給食時も同様である。

## 4 「家庭・学校・地域の連携」について( 生徒 )

評価項目		評価結果(人)					評価の平均値		肯定的回答		
		4	3	2	1	計	今回	前回6月	6月	前回6月	
地域連携	1	学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか	46	100	152	99	397	2.23	2.25	37%	36%

## 4 「家庭・学校・地域の連携」について(保護者)

評価項目		評価結果(人)					評価の平均値		肯定的回答		
		4	3	2	1	計	今回	前回6月	6月	前回6月	
関係者連携	1	学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取組を進めていると思いますか	65	219	57	11	352	2.96	2.93	81%	78%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
4	情報発信・情報共有	■A: ブログを活用して生徒の活動を頻繁に発信していること ■A: 五中ブログで、授業や行事の様子がよくわかり感謝しています、五中ブランド向上に有効だと思います ■A: 五中ブログの今日の給食では、食レポと画像で、五中給食の価値が、よくわかり、楽しみにしています ■A: ブログの土日に行われる部活動報告。楽しみに見えています。 ■A: 学校だよりは、役立つお知らせが、タイミングよく届く ■A: ブログを見ると授業、行事、生徒会、部活など、盛りだくさんの活動をしていて、子供たちの学びが、とても豊かに感じます。ありがとうございます(同4件) ■A: 昨年度、学校評価アンケートの分析と意見への回答が丁寧になりました。とても良いことだと思います ■B: 不審者情報が多く届きますが、捕まった報告がなく不安が続いている。警察や市への報告済みとありますが、実際のパトロール状況等も配信すべきでわ? ■B: 保護者から教員へ連絡した事項の引き継ぎがなされていない。(欠席連絡など) ■B: 顧問の先生はもう少し集合時間などの連絡を早くして欲しいです。
	行事	■A: 地域の方とのふれあいなどのイベントは良いと思います。 ■B: 保護者がもっと関われる機会をつくって欲しい(同1件)
	その他	■B: 全般的な情報系スキル ■まだ分からないです ■解答の仕方が質問にそぐわないときので改善してください アンケートに答える意味とはなんでしょうか?また、この質問の対しての解答はどのように反映されるのでしょうか? このアンケートを見ている人はどなたなのでしょうか?答えをお待ちしております ■B: 不登校児童対応や部活指導のための教員や民間指導者の確保を希望します。

## < 現状の分析及び学校運営の方向性 >

### 【全体分析】

「家庭・学校・地域の連携」について、【評価の平均値】が、生徒は2.5を下回り、保護者は上回る結果となり、両者で異なる傾向を示しています。市川市の施策では、『コミュニティ・スクール』として各学校に学校運営協議会を設置し、地域教育力の活用を目的のひとつにしています。本校の事例として、「地域の方が、『まなびサポーター』として補習・個別指導を行う」「体育の水泳授業で地元サーファーをゲストティーチャーに招き、体験授業を実施」「城山会(PTAのOBを主体とした地域住民の方々)と花壇整備や側溝整備を実施」「市内の森を守る団体の方々が、五中敷地内『城山の森』を毎月整備に訪れ、枯れた木を伐採し、倒木の危険回避などの活動を長年にわたり継続」「令和6年度に学校運営協議会に制服検討部会を設置し、制服改定事務を実施」などがあります。また、PTA組織の変容が進んでおり、各学級から役員を募る方法を見直し、イベントごとに保護者ボランティアを募集して駐輪場係等、必要業務をお願いするなど、持続可能なPTA活動を推進しています。

### 【部分説明】

■今年度も学校ホームページ五中ブログなどを活用し、「子ども達の笑顔を増やす」「五中ブランド力の向上」につながるよう、五中の魅力発信を推進しています。五中生が、日々の授業・生活・行事・部活に取り組む様子から「わかった!」「できた!」「いいね!」「すてき!」「やった!」の多彩な感動体験が伝わります。昨年4月4日、五中ホームページにアクセスカウンターを付けてから、今年8月時点の累計アクセス数は、45万件を超え、一日平均アクセス数は、4月:1142/日、5月:1475/日、6月:1332/

日、7月:1542/日の状況で、一日 3500 超えることもありました。授業の様子など各ブログ記事の『いいね！』カウントが増えることで、「海外と比較して日本の子ども達が低い」といわれる『自己肯定感』が向上し、生きる力が高まる効果をねらっています。今後も五中ホームページにアクセスおよび『いいね！』で子供たちの笑顔を増やす取り組みに、応援よろしくお願ひいたします。

■五中では、地域イベントへのボランティア参加を奨励しており、例年、多くの生徒がボランティア活動を経験しています。このことは、将来、地域の担い手として期待される子供たちにとって意義があり、参加生徒の自己有用感・自己肯定感の向上や社会性を育むなど、高い教育効果が期待できます。

■五中PTAでは、広報誌制作や体育祭パトロールの保護者ボランティアを募集し活動するなど、保護者が学校運営に関わる活動を企画・推進しています。

■不審者対応について、被害にあつたり、目撃したりした場合は、速やかに 110 番通報することを周知・指導しています。その際は、不審者の特徴(服装、背格好、持ち物、乗っていた自転車の車種、色など)を詳しく伝えることが大切です。通報を受けた警察は、通報があった場所を中心に周辺を直ちにパトロールします。110 番通報が速やかに行われ、不審者の特徴が詳しく伝わるほど、不審者の特定および検挙される可能性が高まります。学校から発信する不審者情報は、生徒から報告があつた場合に、五中ブロック小学校、地元交番、市川市少年センターと情報共有するとともに、スキットメールで家庭に周知します。加えて、市川市少年センターから市内小中学校に注意喚起のメールが配信されます。1学期は不審者情報を4件発信しましたが、警察から不審者検挙等の報告は入っておりません。また、検挙等の報告があつた際は、ご家庭を含む関係者および関係機関に周知することとしています。

■本アンケートの目的および取り扱いは、五中を含む市川市立小・中・義務教育学校の教育活動および教育環境の充実と質向上であり、主な質問項目と解答方法は、全市共通で、結果を公表する義務が定められています。(取り扱いについて、詳しくは、本稿 1 ページの説明をご参照ください)また、アンケートフォーム中にお知らせしておりますが、答えがわからない項目は、「無回答」でかまいません。

■校内教育支援センター「あすなろ教室」では、加配教員1名、カウンセラー、空き時間の教員等に加え、今年度から、専従職員「みらいサポーター」を1名配置し、不登校傾向がみられる生徒や学級外での居場所が必要な生徒の支援・指導を行っています。また、政府が推進する「学校部活動地域展開」の施策関連では、土日など休日に教職員に代わって部活を専門的に指導することが可能な「地域指導者」の配置を市川市教育委員会が始めたところです。「地域指導者」については、本校でも配置を要望しています。

#### < 学校運営協議会の意見 >

◎子供会スポーツ大会、小学校運動会、大柏小お化け屋敷、大柏祭り、柏井ウォークラリーなど中学生ボランティアのパワーに期待している地域イベントが多くある。 ◎ボランティアのチャンスが増えることで地域の方々と五中生のふれあいが広がるようにPTAのネットワークや公民館でも協力したい。

アンケートのご協力ありがとうございました。引き続き、  
『子ども達の笑顔: ☺わかった！ ☺そうか！ ☺いいね！ ☺すてき！ ☺やった！』  
を増やすとともに、『五中ブランド力向上』につながる学校教育活動を推進してまいります。